

**令和6年度 ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム**  
**(ゲノム医療実現推進プラットフォーム・先端ゲノム研究開発) (GRIFIN)**  
**事後評価 評価コメント**

| No. | 評価課題名                      | 研究<br>代表者名 | 所属機関 | 役職 |
|-----|----------------------------|------------|------|----|
| 02  | 遺伝統計学に基づく日本人集団のゲノム個別化医療の実装 | 岡田 随象      | 大阪大学 | 教授 |

**【評価コメント】**

計画したすべての目標について、多くの良質な論文報告をもって達成した。日本人集団における疾患の遺伝的な構造について、これまでの予想を覆す多くの事実が解明され、今後のわが国のゲノム医療の礎となる成果であると高く評価された。また、自らが若手研究者であるにもかかわらず、国内外の学生を対象とした講義の開催や指導した若手研究者が受賞に至るなど、若手育成としても多くの成果を取めたことが高評価につながった。

今後は、例えば、急激な環境要因の変化情報も考慮しつつ、サブポピュレーション構造との関係性を具体的に把握する手法の研究をするなど、PRS をより社会実装しやすいように発展させていただきたい。また、データの原点に遡り、これまでの解析フローにとらわれることなくデータの特徴をより正確に把握して、新しいリスクモデル構築にもチャレンジしていただきたい。

以上